

平成 21・22 年度

行方教育部会指定

研究概要

研究主題

表現力を育てるための学習指導の在り方

～学び合いの場の工夫を通して～



講師 行方市教育委員会学校教育課
指導室長 小野口 和章 先生

行方市教育委員会学校教育課
指導主事 茂木 政則 先生

期日 平成 22 年 11 月 15 日 (月)

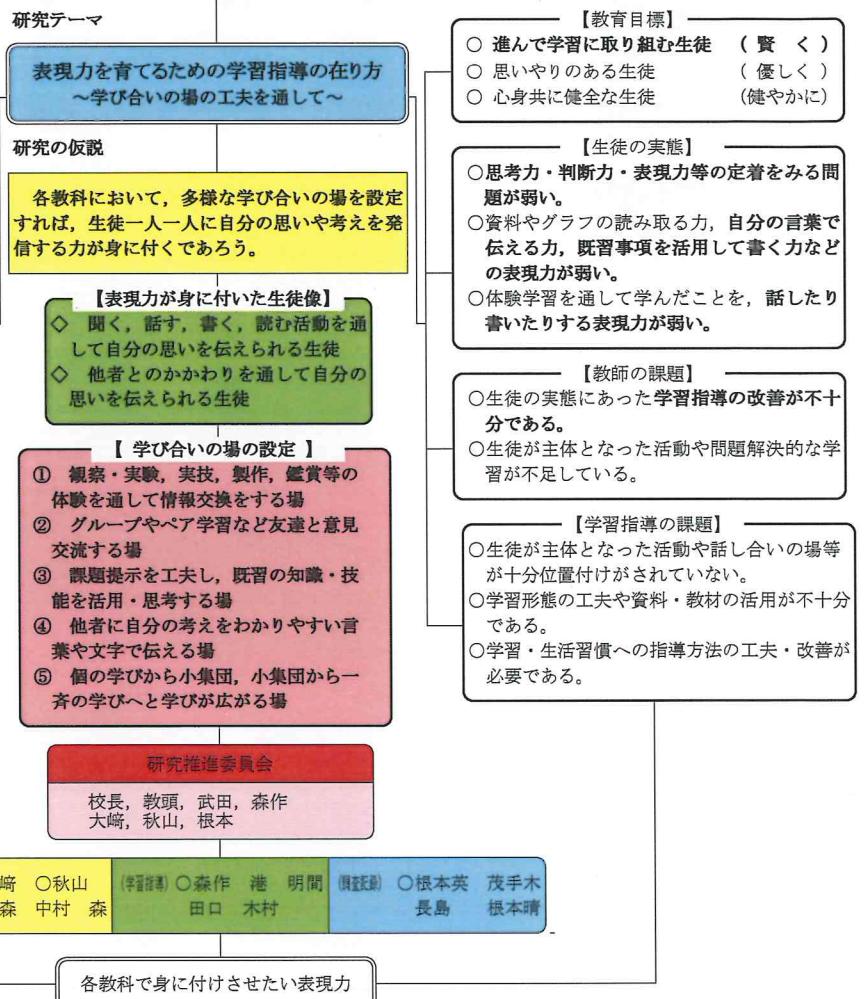
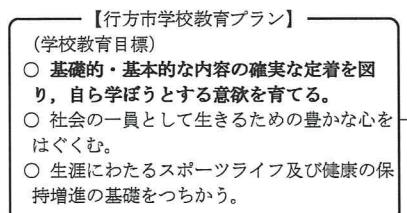
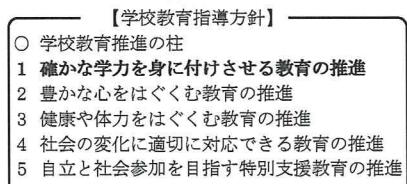
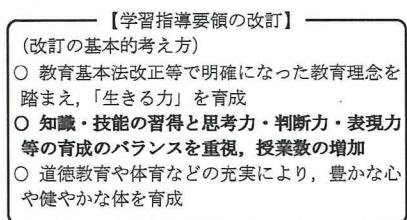
行方市立麻生第一中学校

平成21・22年度 行方教育部会指定研究概要

行方市立麻生第一中学校

各教科の課題

国語	数学	英語	社会	音楽	美術
全国学力学習調査 ・記述問題が苦手。 ・説明文の読み解き力・表現力に乏しい。 ・文脈に即した読み取りが苦手。	全国学力学習調査 ・図形に関する問題が苦手。 ・筋道を立てて考える証明問題が苦手。	学力診断テスト ・基本的な文法や語彙力が不足している。 ・課題文から情報を読み取り、表現する力が弱い。 ・対話文の問題が苦手。 ・自分の思いや考えを文章で表現するのが苦手。	学力診断テスト ・指定された語句を使った説明が苦手。 ・資料内容を読み取り、記述するのが苦手。	意識調査 ・合唱・合奏を聞き合ったり、振り返る機会の不足。	意意識調査 ・自分に合った表現方法を知る機会が不足。
学力診断テスト ・指示語の理解力が不足。 ・作文用紙の書き方の理解不足。 ・文末の整わない文が多い。 ・古文の問題が苦手。	学力診断テスト ・図や式を関連づけて表現する能力が弱い。 ・小数、分数の混じった計算が苦手。 ・立体の問題が苦手。				



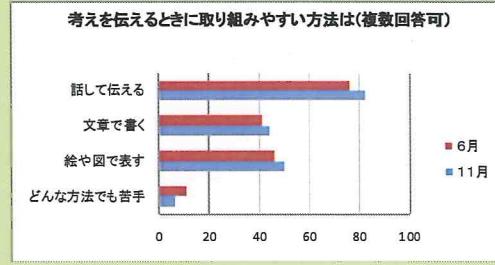
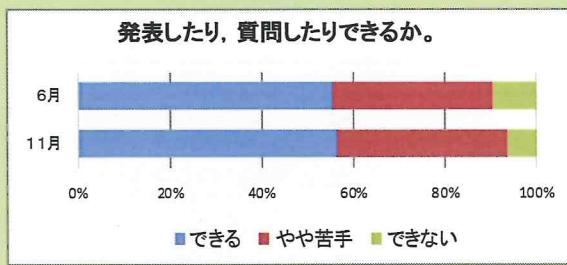
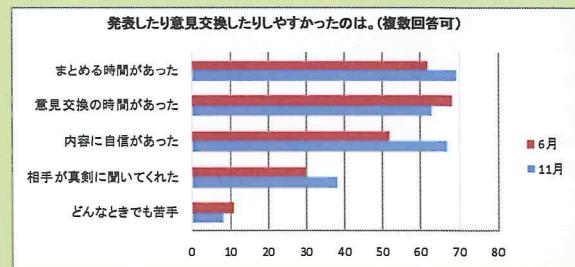
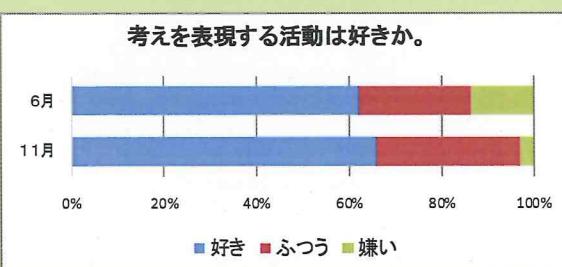
国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭
自分の考えをわかりやすくまとめて、言葉や文章を使って書いたり話したりして表現する力 学習形態の工夫やモデルケースなどの練習の場の設定	資料を読み取り、自分なりの考えをもち、それを書いたり意見を述べたりする力 ワークシートやレポートをもとに小集団による発表	様々な方法を用いて筋道を立てて相手にわかりやすく伝えるようとする力 小集団での話し合いを生かし、発表が正確に伝わったかの確認	実験結果を適切に処理し、グラフや図を用いたりしながら分かりやすく説明できる力 観察実験結果をもとに、自分の意見の記述・レポートの作成	場面に応じて自分の考えや意見を英語を用いて相手に分かりやすく伝える力 話す・書く活動を取り入れ、相手にわかりやすく伝える場の設定	表現活動を通して自己の技能を高め、曲想に合った表現方法で表す力 合唱を通して曲想をつかみ、表現する場の設定	自分の思いや心情を、より効果的・創造的に工夫した表現方法で表す力 多様な方法で自分の表現意图に合わせて活用できる場の工夫	ルールや方法を理解し、「分かった」ことを「できる」ことに結びつけていく力 「分かる」部分と「できる」部分を振り返えられる学習カードの作成	生活における課題を解決する方法をまとめたり、発表したり追究したりする力 学習した内容を自分の生活の中で実践し、報告する場の設定

学び合いの場の設定の仕方

	何を(What)	いつ(When) どこで(Where)	どのように進めるか (How)
P 目標設定	○研究推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・本校の「表現力の身に付いた生徒像」の設定 ・各教科で生徒に身に付けさせたい「表現力」の明確化 ・授業実践の計画・立案 ・学び合いの場の設定 	5月 ○推進委員会（5/10） <ul style="list-style-type: none"> ・研究全体計画、研究主題、仮説、内容、発表日等の確認 ・授業研究の立案 6月 ○第1回意識調査の実施（6月） ○推進委員会（6/14） <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業者の決定 	○研究全体計画案をもとに、研究主題、仮説、内容等の確認 <ul style="list-style-type: none"> ○1学期の授業研究の立案する。 ○部会指定校発表会の期日を決定する。 ○要請訪問での授業計画を立案する。 ○部会指定校発表会での公開授業計画を立てる。
	○各教科での授業研究 <ul style="list-style-type: none"> ①各教科における生徒の実態を把握 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度の意識調査結果分析 ・学力診断のためのテスト結果分析 ②授業の工夫・改善点の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・授業展開の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> （發問の工夫、自力解決の位置付け、学び合いの場の設定、評価の工夫） ・授業実践（6～7月） （授業相互参観、授業検討会） 	4月 ○校内研修・学年研修 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度の意識調査結果分析 ・学力診断のためのテスト結果分析 5月 ○自己研修（5/10） <ul style="list-style-type: none"> ・担当教科で身に付けさせたい表現力の明確化 5月～6月 ○校内研修（5/17）模範授業視聴 ○授業研究の実施計画	○生徒の実態把握（4・5月） <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度の意識調査結果をもとに、授業の工夫・改善についての討議を行い、本校の課題解決に向けて授業展開案を決める。 ・学力診断のためのテスト結果を分析し、各教科で身に付けさせたい表現力を明らかにする。 ○教育情報ネットワーク「模範授業（中学1年数学）」を視聴して、授業展開の工夫について研修する。
	○学習指導の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ①朝の読書・読解タイムの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省を生かした計画・内容 ②学習相談の実施 ③基礎的・基本的事項の確認 ④学習の目標、話し合いのルール等の教室掲示物の作成 	4月～5月 ○読書タイムの立案 ○読解タイムの立案 ○学習相談の立案 ○学習の目標、話し合いのルール等の教室掲示物の作成（5月） 4月 ○第1回読解力確認テスト 6月 ○第1回表現力に関する意識調査	○読書タイムでは、年間30冊以上を目指し、継続的に実施する。読書記録の習慣化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○読解タイムでは、昨年度の課題解決に向け、作文用紙の使い方、古文の読解等を含めた「読む・解く・書く」を実施する。 ○毎週月曜日の6校時に希望生徒を中心に教育相談実施・補充的な学習を中心実施する。 ○学習指導研究部が中心となり、表現力の向上、学習の目標等の掲示物を作成し掲示する。
	○研究推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究のまとめ ・生徒の変容（意識調査、表現力テストの結果等） ・発表会リーフレット作成 	7月 ○授業研究検討会をもとにしたまとめ 9月 ○第2回意識調査の実施と変容の分析 ○研究発表会への研修 <ul style="list-style-type: none"> ・授業構想について ・指定校発表指導案 ・発表会役割分担について 9月～10月 ○リーフレット案作成 ○リーフレット完成・印刷 ○指導案完成・印刷製本	○1学期実施した授業研究を検討会内容をもとに整理しまとめる。意識調査結果をもとに変容を分析しまとめる。それらをもとにリーフレットに載せる内容・写真の精選を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○指定校発表指導案の構成等についての検討会を7月中に実施し、指導案を作成する。 ○調査研究部を中心にリーフレット案を9月中に作成する。
	○各教科での授業研究 <ul style="list-style-type: none"> 授業実践（6～7月） <ul style="list-style-type: none"> ・授業展開に工夫・改善が見られる指導案の作成 ・授業相互参観、授業検討会 発表会指導案作成（8～9月） 	5月～6月 ○授業研究の立案と実施 <ul style="list-style-type: none"> ・いつ、何生年の、どの単元で、どのような学び合いの場を設定するかの決定 ○授業研究を実施し、放課後に検討会を実施する。 ○夏休み中の研修日（指導案検討） 8月 ○第1回表現力に関する意識調査	○本校の授業展開案をもとに指導案の作成を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの場を位置付けた展開 ○授業実践を行い、「授業相互参観評価表」を用いて授業参観し、検討会を行う。 ○10月下旬までに発表会指導案を作成する。 ○1学期までの研究内容、発表会指導案等について指導主事から指導助言を受け、改善する。
	○学習指導の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ①読書タイムの実施 ②読解タイムの実施 <ul style="list-style-type: none"> （1学期）原稿用紙の使い方と表現力の向上 （2学期）古文の読解力の向上 （3学期）表現力の向上確認と課題の明確化 ③学習相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的事項の確認 	5月～3月 ○読書タイムの実施 第1・3・5週に実施 ○読解タイムの実施 第2・4週に実施 9月 ○第2回読解力確認テスト 10月 ○第2回表現力に関する意識調査 4月～3月 ○学習相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日の6校時に実施 	○月3冊以上の読書を目指す。 ○国語科で読書記録カードを準備する。 ○読解タイム担当者（森作）からのプリントをもとに、「読む」「解く」「書く」「推敲する」という活動を継続的に実施する。 ○全職員で読解タイムの指導・支援にあたる。 ○読解タイムプリントは、国語科担当者で推敲・指導して返却する。（生徒はファイリングする。） ○学年単位で補充学習を実施する。 ○補充学習は生徒の実態に応じて学年主任を中心に計画・実施する。
	○研究推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・研究発表会への計画・準備 ・発表会実施 ・発表会の成果と反省 	10月～11月 ○発表会当日の日程、準備等の確認 ○発表会の実施（11/15）	○発表会当日のタイムスケジュール、会場、駐車場等の準備、役割分担を決める。
	○各教科での授業研究 <ul style="list-style-type: none"> ・授業準備・確認・実施 	10月～11月 ○授業準備・確認・実施	○授業者を中心に全職員で、授業準備、会場準備等を行い、発表会を実施する。
	○学習指導の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・教室・廊下環境として、読解タイムの内容の掲示 ・研究の大まかな流れの掲示物作成 	8月～10月 ○読解タイムの内容の掲示 ○授業研究等の写真掲示 ○表現力に関する意識の変容	○学習指導研究部を中心に、教室・廊下環境として、読解タイムの内容、研究の流れ等の掲示物作成と掲示を行う。
A 改善	○研究推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめ…成果と課題の明確化 	11月～2月 ○研究推進員会 <ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめ 	○研究のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの基盤づくりの成果と課題をまとめる。 ・来年度へ向けての改善点とその方策を立てる。
	○各教科での授業研究 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案等の整理・保管 ・学習指導の成果と課題の明確化 	11月～2月 ○校内研修 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案等の整理 ・学習指導の成果と課題の明確化 	○指導案・教材教具等の整理・保管 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案等の整理を行う。 ・学習指導の成果と課題を明確にする。
	○学習指導の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・読書タイム・読解タイムの成果と課題 ・学習相談の成果と課題 	11月～2月 ○校内研修 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意識調査 ○第3回表現力テスト	○読書タイム、読解タイム、学習相談について生徒、職員からの意識調査結果をもとに成果と課題を明確にする。

■ 研究の成果

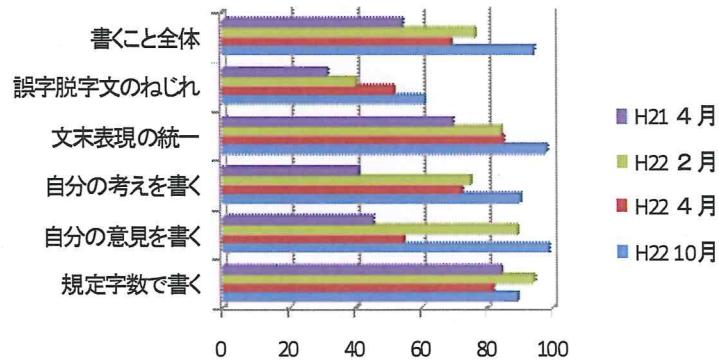
生徒の意識調査結果・表現力テスト結果



【読み解タイムでの学習プリント】

左：22年度の実施したプリント
中：学習の目標と反省カード
右：21年度の実施したプリント

表現力の観点別達成度の変容



- ペア・グループなどの情報交換の場を設定し、学習を進めることは、生徒が自分の思いや考えを伝えるのに有効である。
- 学び合いの場を、個から小集団（ペア・グループ）、小集団から一斉と学びの合いの場を広げていくことは、生徒が自信を持って自分の思いや考えを伝えるのに有効である。
- 「読み解タイム」や「表現力テスト」を継続して行い、課題を明らかにして学習指導の支援にあたったことは、生徒が自分の思いや考えを文章で書くことや表記の仕方を身に付けるのに有効である。

■ 今後の課題

- 自分の思いや考えを発表する力を高めていく指導の充実を図る。
- 「学び合いの場」を多くの単元で設定し、生徒が自分の考えを友達の考えと比較検討し、練り上げる機会をつくり表現力を高める。
- 生徒の実態を分析し、教科や分野を広めた「読み解タイム」「読み書タイム」を計画し、継続的に実施する。